

三笠市 企業版ふるさと納税

～主な活用事業～

2023年4月現在

1

CO₂フリー水素による地方創生を推進します！

～未利用エネルギー活用事業～

新たなエネルギー利用の方法として、地下に眠る石炭層を燃焼し、抽出したガスや水素を利用するための研究を行い、実用化に向けた取り組みを推進します。

また、ガスや水素の製造過程で排出されるCO₂を農業などで利用したり、旧炭鉱の探掘跡に貯留・固定するカーボンリサイクル事業を推進し、低炭素なまちづくりや水素による新たな産業の創出を図ります。



(SDGs) 関連するゴール



2

食の未来を切り拓く、人材の育成を推進します！

～高校生「食」のコンクール実施事業～

日本の食文化や食産業を守るためには「食の素晴らしさ」や「食の可能性」を伝える人材を育成することが未来に繋がると考えます。

三笠市では、2018年7月に「三笠高校生レストラン」をオープンさせ、館内に設置した「キッチンスタジオ」において高校生が斬新な発想や技術を競う「スイーツコンクール」や「料理コンクール」を開催し、若者の交流を通じて互いを高め合い、未来の食産業を担う人材の育成に貢献します。



(SDGs) 関連するゴール



3

教育と観光によるまちづくりを推進します！

～三笠ジオパーク推進事業～

三笠市では、アンモナイトが海を泳いでいた1億年前から、石炭の発見以後炭鉱まちとして築いた現代、そしてジオパークや高校生レストランなどを楽しむことができる現在までの「1億年時間旅行」を、アクティビティ・ガイドツアー・教育旅行・研修などを通じて体験することができます。

道内初の近代炭鉱及び鉄道（全国3番目）、そして、開拓や炭鉱の労働力確保のための空知集治監（現在の刑務所）、地域発展の歴史やそこから生まれた伝統や文化など、北海道開拓の重要な要素や物語を有しています。これら地域ならではの歴史・風土・文化・資源等の保護保全及び活用を行い、「見て・学んで・楽しんで・体験できる」様々なメニューを展開し、さらなる地域おこし・経済振興・人材育成などを図っていきます。



(SDGs) 関連するゴール



ひとまたぎ5千万年
(ひとまたぎ園道)

上記のように「第2期三笠まち・ひと・しごと創生総合推進計画」に位置付けられた地方創生に資する事業が、企業版ふるさと納税の対象事業となります。そのほかの主な位置付け事業を一部ご紹介します。

～主な位置付け事業～

- 北海盆おどり実施事業
- 博物館特別展示事業
- 三笠鉄道村整備事業（SI整備）
- 桂沢国設スキー場整備事業
- ファミリーランドみかさ遊園整備事業
- 三笠版DMO推進事業
- 観光交流促進事業
- 農業基盤整備事業
- ワインを活用したイベント開催事業
- 子どもの医療費助成事業
- 乳幼児紙おむつ購入費用助成事業
- 保育所使用料・副食費助成事業
- 小学校給食費助成事業
- 親子英語教室実施事業
- 学方向上未来塾推進事業
- スポーツ環境充実事業（プロ指導者招致）
- いさききライブ健康づくり事業